



日本共産党高山市議団
牛丸 尋幸議員

**連続する災害
住民からの要望は
避難所運営方法の
見直しを**

問6月からの豪雨災害や台風災害で、住民から寄せられた要望や苦情の内容は。また、市の対応は。

答住民からは、「避難勧告と避難指示の区別が分からない。避難勧告が発令されたが、どこが避難区域となっているのかが分からない。町内会における一時避難所の運営のルールが分からない。避難指示が出された場合の、町内会の対応がどうしたらよいか分からない。防災備蓄品をあらかじめ避難所に備えて欲しい。」などのご意見が寄せられた。これらのご意見については、地元の皆様との協議をふまえて対応したい。

問市避難所運営マニュアルによると、「自主

防災組織の役員、避難者等から、自主的な協議の基で運営リーダーを選出する。運営リーダーは、主として災害対策本部との調整等業務全般に関わり、重要事項の検討を行い、運営全体を統括します」と書かれているが、市職員が避難所運営全体の責任者となり、災害対策本部との連絡調整を行うべきではないか。

答そういったご意見は、まちづくり協議会の会長さんなどからもいただいている。また、事前に市と地域との役割分担をしっかりと行うなど、避難所がスムーズに運営できるように確認作業をして欲しいと言われている。そうした視点を十分考慮しながら対応したい。



高山市政クラブ
西田 稔議員

陸上記録会で子どもたちの心に残る風景を！

問高山市・白川村小学校陸上記録会を今後も継続していくために課題をどう捉えているか。

答市の教育の方針として「挑戦し続けるたくましい子」を育成することを目指している。課題は「参加のあり方」と「指導者の問題」の二つがある。

問指導者を外部に依頼するとき、人数や資格など統一した基準はあるのか。

答外部指導者を依頼する場合、外部指導者の人数や資格など、統一した基準はない。指導者の問題を解消するために、学校では全校の教職員による指導体制をとることや、中学校の陸上部員や体育科教員、また地域の陸上指導者を依頼している。

犬、猫の殺処分ゼロにむけた啓発活動を

問犬や猫などのペットを飼えなくなったときに相談できる窓口がないと市民が感じている。

答飼育年数の経過とともに飼い主が体調を崩すなど、飼い続けることが困難となるケースがある。市では保健所や市内の動物愛護団体を紹介しペットの一時預かり、里親探し等、連携を取っている。

問飼育者の法律的義務等を啓発する必要があるが市の見解は。

答「動物の愛護及び管理に関する法律」について広報等により周知に努めている。ペットを飼う人には責任を持って飼い続けられるよう啓発している。



高山市政クラブ
沼津 光夫議員

来年開催の岐阜県消防操法大会の対応状況は

来年度の岐阜県消防操法大会について

問会場となる飛騨エアパークや地域のインフラ整備計画は。

答会場で使用する電気や水、トイレなどは、既存の設備・施設を利用する。インフラ整備は計画していない。

問会場や駐車場はどのように整備するのか。

答周辺にある駐車場や運動施設等を確保。会場から離れた駐車場についても検討を進める。

問印象に残る大会とするためのコンセプトは。

答消防団活動にご協力をいただいている全ての皆様に、高山らしい「おもてなし」「大切な人への心遣いや心配り」をする絶好の機会と捉え、これらを本大

雪対策について

問消雪施設の熱エネルギーは様々あるが、灯油を木質バイオマス燃料に変更できないか。

答道路融雪のみに木質バイオマスボイラーを利用する場合は整備費や設置場所、管理手法など、課題を整理し研究する必要がある。

問道路の消雪対策はどう計画されているのか。

答消融雪設備の整備を行う際には、自然エネルギーや再生可能エネルギーを活用した消雪対策を考えていく。

問雪下ろしや除雪をしないで済ませたい。観測から支援制度の研究を進めたい。